

FIEL

18/02

第164号

□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□TEL 028(677)5033

□ http://www.hokoren.com

□ E-Mail: information@hokoren.com

□編集責任者 七井 真人

■ 新春賀詞交歓会を開催

平成30年の新春を寿ぐ芳工連賀詞交歓会 を1月26日、ホテル東日本宇都宮において 開催しました。

来賓として芳賀町から見目匡町長、上野哲男 副町長、手塚孝幸商工観光課長、芳賀町議会から石川保議長、小林信二産業建設常任委員会委 員長、芳賀町商工会から佐藤政二会長にご臨席 いただきました。

会員企業から39社71名の参加をいただ き総勢80名の盛大な賀詞交歓会となりました。



司会進行は総務企画部会の吉冨孝司副部会長が務めました。富永英夫副会長の開会のご挨拶で賀詞交歓会がスタートしました。

■ 河合会長の主催者あいさつ

皆さま、明けましておめでとうございます。本日は芳賀町見目町長さんはじめご来賓各位のご臨席をいただき、会員企業の皆さまとともに平成30年芳工連賀詞交歓会を盛大に開催できますことを慶んでおります。

昨年の国内外の経済を振り返って見ますと、海外では主要国がそろってプラス成長を記録し、世界経済全体の成長率も回復、加速するなど順調に推移してきました。

日本経済は一段と回復傾向が鮮明となり、株価は日本経済の基礎的条件の改善を好感し、外国人投資家の買いが強まり日経平均株価は2万3千円台後半の底堅い展開が続いています。

今年の我が国経済は、海外経済の回復が続くなかで、新しい経済政策の効果も相まって雇用・所得環境の改善が続き、経済の好循環がさらに進展し、民需を中心とした景気回復が見込まれると多

くのエコノミストが明るい見通しを示しています。

昨年の芳工連活動の実績に目を向けてみますと、会員企業様から高いニーズのある各種研修会開催などで安全・安心の向上に寄与することができました。

立地企業の皆さまとの強固なネットワーク のもと、事業主体である4部会が芳工連の目指 すビジョン・目標に沿って活動できた結果、多



くの共感をいただきました。会員企業各位のご理解とご協力に改めて感謝を申し上げます。有難う ございました。

昨年を振り返って、特に印象的だったことは、LRT事業の説明段階で多くの企業様から交通渋滞への懸念が寄せられたことです。

そのようなことから、昨年は会員企業様のご意見をもとに、芳賀町のご指導をいただきながら栃木県知事、国土交通省へ道路整備促進の陳情を精力的に行ってきた一年でした。

陳情活動が奏功し、交通渋滞の解消に向けた道路整備の完成時期が明確になったことから、多くの会員企業様と同じく、私も不安が解消でき安堵しているところです。企業活動にダメージを及ぼすことなくLRT工事が完遂し、LRT開業の暁には工業団地に立地するすべての企業にプラスの効果をもたらすことを期待しております。

芳工連は平成31年度に創立30周年の記念すべき年を迎えます。そこで今年は創立30周年という大きな節目に挙行する記念事業の在り方、方向性などを検討する準備の年にしたいと考えています。

芳工連会員企業の継続性が一層盤石なものとなるよう、新しい時代の潮流のなかで安全・安心な工業団地づくりに向け、皆さまのご協力をいただきながら努力して参ります。

そのためにも、芳賀町並びに栃木県など行政機関、また各種団体と重層的な連携強化を図りたいと思いますので、今後とも芳工連の運営並びに事業活動に対し、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員企業様並びに御参会の皆さまのご繁栄とご多幸を祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

■ 来賓祝辞

見目匡芳賀町長は、「芳賀町は県内自治体の中でも財政力に恵まれています。これも工業団地に立地する企業の皆さま、そして芳工連が大きな役割を果たしております。

『躍動する芳賀の町 未来につなげよう』を 芳賀町の将来像とする第 6 次芳賀町振興計画 が平成28年度にスタートし今年で 3 年目を 迎えます。

振興計画の都市基盤整備においては、主要施 策の一つとして24.8haの規模となる新産 業団地造成を計画しています。今年は農地から



工業専用区域に変更する法手続きを進め、県企業局のご協力で平成31年8月には整地工事に着手できるよう計画しています。企業に働く人たちの多くは宇都宮市や高根沢町にお住まいなので、芳賀町に住んでいただけるよう住宅団地『祖陽が丘』で124区画の住宅造成をしています。来年には一部で宅地分譲を開始できるよう工事を進めています。

LRT事業については、今年は施工認可が得られるので補助金の状況によっては用地買収を進めることになると思いますので、よろしくご協力をお願いします。

大塚地区の道路整備は、芳工連のお力をお借りして国交省への陳情をした成果もあり 2 年前倒しで完成する見通しとなりました。これからもご協力をお願いいたします。結びに芳工連の発展を祈念します」などとご挨拶されました。

町議会石川保議会議長は、「芳賀町の工業団 地の皆さまには芳賀町発展のため、多大なるご 支援をいただき、厚くお礼申しあげます。

日本経済は堅調な回復を続けていると言われていますが、今後も所得、雇用環境が堅調に続くことにより個人消費が回復し、外需と内需がバランスよく景気拡幅を支え、景気回復が続くものと思います。

しかし、地方経済の実態は厳しいところがあると思います。一日も早く経済の回復が地方にも波及することを期待しています。



芳工連会員企業の皆さまの経済動向によって芳賀町財政は大きく影響します。企業の皆さまが元 気になれば芳賀町も元気になります。皆さまのご協力をお願いします」などとご挨拶されました。

■ 祝宴

芳賀町商工会の佐藤政二会長による乾杯の 発声で祝宴がスタートしました。

各企業を代表する経営者や主要ポストにおられる役職者にも多数ご参加いただきました。 初顔合わせとなる参加者も多いことから、各

初顔合わせとなる参加者も多いことから、各 テーブルでは名刺交換やら挨拶が始まり、会場 内は一気に賑わいました。

恒例の企業スピーチは、(株)ホンダテクノフォートの井ノ部聡総務部長、(株)不二ロジカーゴの南木健二営業課長、(有)田野辺運送店の田野辺隆男代表取締役社長、(株)日新の松尾尚俊次長、(株)リブドゥコーポレーションの上田勝男工場長にお願いしました。企業紹介や新年の抱負などのお話しがございました。

笑いの絶えない有意義な一時を過ごしましたが、予定の時間を過ぎた頃、渡良貴副会長による一本締めでお開きとなりました。

せっかく参加の申込みをいただきながら、爆





発的に流行しているインフルエンザに罹り、止む無く欠席となった方が多数おいでになったことは 残念なことでした。

今年の賀詞交歓会でも、会員企業相互のみならず行政や地域経済団体の皆さまと親睦と交流を深めることができました。

参加者から「企業名と業務内容は漠然と理解していたが、情報交換のなかで知らない分野の仕事でも実績を上げていることに驚いた」などの感想を聞きました。より多くの企業について理解を深めていただく機会になったことは有難いことです。

ご多用な中にもかかわらずご出席いただきました皆さまに感謝を申し上げます。

■ 普通救命講習会

1月24日開催した第4回普通救命講習会に11社から16名の参加がありました。消防 芳賀分署の救命救急士3名が講師としてご協力くださいました。

今年度開催した4回の普通救命講習会に延べ49社68名の皆さまが参加されました。

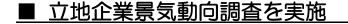
今回も講師から「芳工連の受講者は人工呼吸 やAED使用の実技も積極的です」とお褒めの 言葉を頂戴しました。

一人ひとりが、緊急時に対応できる普通救命

の知識と技能を確りと覚えて行こうとする姿勢の表れと思います。

AEDの活用件数は決して多くはなく、AED活用を躊躇する、或いは使い方が分からずに手を付けられないといった統計結果もあるようですが、職場などで心肺停止が発生した場合には、救急車が到着するまでの時間が非常に重要となります。心肺蘇生やAED利用などの有効な一時救命措置が早期に出来た場合、救命率や社会復帰率が確実に向上します。

安全衛生部会では、職場の安全・安心の向上に関する重要施策の一つとして、今後も普通救命講習会を継続的に開催するよう検討してまいります。



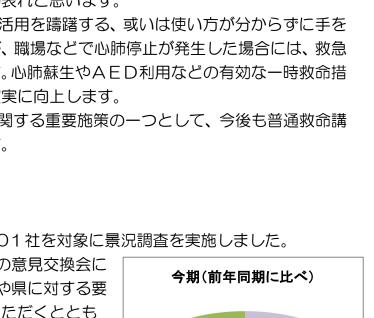
12月15日付けで工業団地に立地する企業101社を対象に景況調査を実施しました。

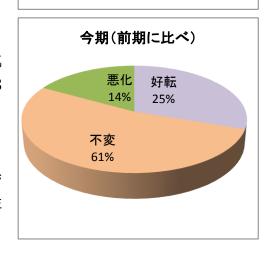
これは2月2日(金) 開催される栃木県知事との意見交換会において、当工業団地立地企業の業況に関する説明や県に対する要望を河合会長からご説明する際の参考にさせていただくとともに、県の産業振興に関する施策に反映していただくことを目的とした調査です。

調査には59社(回答率58%)から回答をいただきました。 集計結果は以下の通りです。

質問1 今期状況と来期の見通し

- (1) 今期(平成29年10~12月)は
- ① 前年同期と比較して「不変」が30社(51%)で前年度 比1.7ポイント増、「好転」が20社(34%)で前年度比 5.6ポイント増、「悪化」は9社(15%)で前年度比7.3 ポイント減でした。
- ② 今年前期(7~9月)との比較でも「不変」が36社(61%) で前年度比8.2ポイント増、「好転」が15社(25%)で 前年度比4.8ポイント減、「悪化」は8社(14%)で前年 度比3.4ポイント減でした。





悪化

15%

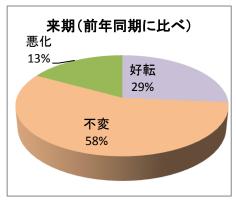
不変 51% 好転

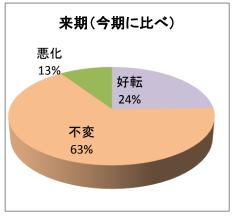
34%

- (2) 来期(平成30年1~3月)の見通しは
- ① 前年同期と比較して「不変」が34社(58%)で前年度比1ポイント増、「好転」が17社(29%)で前年度比2.4ポイント増、「悪化」は8社(13%)で前年度比3.2ポイント減でした。
- ② 今期(10~12月)との比較では「不変」が37社(63%)で前年度比3.3ポイント減、「好転」が14社(24%)で前年度比0.9ポイント減、「悪化」は8社(13%)で前年度比4.2ポイント増でした。

このように、今期については前年同期と一転し「悪化」が減となる一方、多くの企業が景気回復を実感していることが分かります。

また、来期の見通しについても前年同期より「好転する」との見通しがやや増えている状況が分かりました。





質問2、設備投資内容は

(1) 今期の設備投資状況は、「実施した」が27社(45.8%)でした。内容は複数回答で ①付帯設備15社、②車両・運搬具10社、③OA機器8社が上位でした。 「実施なし」は32社(54.2%)でした。

(1) 実施した 27 社※ %は複数回答 52の割合 (前年度比ポイント)1 土地23.8 %(+3.8)

1	土地	2	3.8 %	(+3.8)
2	建物	5	9.6 %	(+1.8)
З	建設機械	3	5.8 %	(-0.1)
4	車両・運搬具	10	19.2 %	(-4.3)
Ŋ	付帯設備	15	28.8 %	(+7.2)
9	OA機器	8	15.4 %	(-0.2)
7	福利厚生施設	4	7.7 %	(-0.1)
8	その他	5	9.6 %	(-8.0)

② 実施していない。

(2) 来期の設備投資計画は、「計画あり」が31社(52.5%)でした。内容は複数回答で ①車両・運搬具17社、付帯設備17社、③OA機器8社が上位でした。 「計画なし」は28社(47.5%)でした。

① 計画している31社 ※ %は複数回答58の割合

	THE CONSTRUCTION AND ADDRESS OF THE CONSTRUCTION ADDRESS OF THE CONSTRUCTION AND ADDRESS OF THE CONSTRUCTION ADDRESS OF THE CONSTRUCTION ADDRESS OF THE CONSTRUCTION ADDRESS OF THE CONSTRUCTION AND ADDRESS OF THE CONSTRUCTION AND ADDRESS OF THE CONSTRUCTI					
1	土地	1	1.7 %			
2	建物	4	6.9 %			
3	建設機械	1	1.7 %			
4	車両・運搬具	17	29.3 %			
5	付帯設備	17	29.3 %			
6	OA機器	8	13.8 %			
7	福利厚生施設	3	5.2 %			
8	その他	7	12.1 %			

② 計画していない。

計画4回なし 28 47.5 %

(前年度比ポイント) (+1.7)

(+0.1)

(-5.1)

(+4.3)

(+2.0) (+2.4)

(-1.6)

(-3.8)

設備投資については、「実施なし」の回答が今期54.2%、来期47.5%で多くの企業は 積極的な設備投資を見送っているようです。

また、設備投資を「実施した」、或いは「計画あり」とする企業においても、その内容は付帯 設備や車両・運搬具などに止まっていますが、今期は土地が2社、建物が5社、来期にも土地1 社、建物4社など前年度までは見られなかった本格的な設備投資も一部の企業で実施され、今期 及び来期ともに本格的な設備投資がやや増加傾向にあることが窺えます。

質問3、今期直面している経営上の問題点は

「従業員の確保が難しい」、「熟練技術者の確保難」、「製品ニーズの変化対応」が上位に選ばれた項目でした。

人手不足は年々深刻さを増し、ものづくり産業の強みとなっている高度の熟練技能者の確保難も深刻さを増しているようです。また顧客ニーズの変化が早いことから、変化に対応できる製品開発などが求められている厳しい現実が読み取れます。

質問4、栃木県に対する要望については、次のような記述がありました。

- ①LRTと連絡する公共交通機関の整備促進
- ②LRT事業を含めた交通網の確立と収支を補える体制の構築
- ③LRT事業にともなうトランジットセンターの駐車台数の明確化
- ④ L R T 事業計画及び工事進捗状況に関する情報の定期的な周知
- ⑤宇都宮テクノ街道の4車線化の具体化
- ⑥交通渋滞解消(交通渋滞緩和)
- ⑦交通渋滞緩和を目的とした道路整備促進
- ⑧芳賀工業団地と国道123号へのアクセス整備
 - ※ 調査にご協力いただきました企業担当者各位に感謝いたします。

■ お知らせコーナー

芳工連が傷害保険に加入

芳工連では平成 30 年 1 月から、各種事業の参加者を対象とした傷害保険に加入しました。

対象となる事業は、芳工連が主催する泊りを含まないすべての行事・イベン

トです。行事・イベントに参加された方全員を被保険者とし、その方が行事参加中に被る傷害について補償するものです。保険金の種類は死亡保険金、入院保険金、通院保険金です。

行事等参加中に突発的、偶然の事故によりケガをされた場合は、事務局までご連絡ください。

芳工連日誌

【1月の実績】

- 5日 仕事始め
- 10日 芳賀町賀詞交歓会
- 22日 団管連幹事会
- 24日 普通救命講習会
- 24日 資源ごみ回収
- 26日 芳工連賀詞交歓会

【2月の予定】

- 2日 栃木県知事との意見交換会
- 8日 優良事業所視察研修会
- 14 日 第 38 回ボウリング大会
- 15日 労務管理セミナー
- 28日 資源ごみ回収